

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行しました。

社会福祉法人 神戸市長田区社会福祉協議会だより

発行●社会福祉法人神戸市長田区社会福祉協議会
〒653-0016 神戸市長田区北町3-4-3 長田区総合庁舎内
TEL.078-511-4277 FAX.078-574-2427
http://www.nagatavc.org/
E-mail:n-syakyou@neo.familie.ne.jp



SORE-IKE NAGATA

No 21

平成22年9月号

心かたがた

共同募金運動は1947年(昭和22年)からスタート



じぶんの町を 良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

10月1日(金)~12月31日(金)



問い合わせ先 社会福祉法人兵庫県共同募金会 長田区共同募金委員会
〒653-0016 神戸市長田区北町3丁目4番地の3 電話 511-4277 FAX 574-2427

昨年は多数の事業所の皆さまに募金箱設置にご協力いただきありがとうございました。今年も募金箱を設置して下さる事業所を引き続き募集しております。

詳しくは
社会福祉法人兵庫県共同募金会
長田区共同募金委員会
〒653-0016
神戸市長田区北町3丁目4番地の3
電話 078(511)4277
FAX 078(574)2427

- ◆企業、職場で赤い羽根募金への参加方法
 - 事務所や店頭で募金箱を設置する。
 - 企業として寄付をする。(税法上の優遇措置があります)
 - 寄付金付きの図書カード、クオカードの購入をする。
 - 募金付自動販売機の設置。(自販機の売り上げの5%を寄付)
- ◆クレジットカードを通じた寄付
 - オリコカードや三井住友VISAカードの2社が取り組んでいる赤い羽根クレジットカードを利用すると、カードをお持ちの方には一切の負担をおかけすることなく、利用額の0.5%がカード会社から共同募金に寄付されます。

今年も赤い羽根共同募金の季節がやってきます。昭和二十二年にスタートしたこの運動のことをご存じない方は少ないことと思います。しかし、集まった募金額の70%が集めた地域で活用される地域密着型の運動だということをご存じない方は多いのかもしれない。長田区で集まった募金は長田区で活用されるのです。ここ数年、この運動のポスターは「じぶんの町を良くするしくみ」というキャッチコピーとともに「使い道」を知っていただくためのポスターに様変わりしています。寄付をして下さったお金の70%が、ポスターに示された使い道にかたちを変えて、あなたの傍で役に立っているのです。

じぶんの町を良くするしくみ

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金で発行しました。

善意の輪 数珠つなぎ



「福祉の職員の方々に大変お世話になりました。心からの親切は本当に嬉しく、感謝しております」
八年前のことをこのように振り返られました。ふいに自分の身の上に降りかかった出来事に、途方に暮れ福祉に相談に行くと、当時の担当職員が、親身にさまざまな協力・支援をして下さったとのこと。
「今は神戸から離れましたが、現在私がこのようにその職員の方々のお陰です。ずっとこの思いを何かでお返しをしたいと思っていました。それが実現できて少

し肩の荷が下りたような気がします」と善意銀行にその温かい思いと一緒に寄付くださいました。
その方の感謝の思いをどうしても当時の担当職員にお伝えしたく、この出来事をお話しました。
「日々たくさんの市民の方々と接している中で、何となくしか思い出せないけど、本当に嬉しくありがたい話です。人の思いはいつまでも残るのですね。これからも、一回一回の出会いを大切に仕事をやるように心がけます」とう話さ

八年越しの温かく、強い思いがしっかりとお伝えできたことに安堵しました。同時に人と人、大切な思いを橋渡しでき、自分を介してお互いの喜びを共有できたことは、何にも代えがたいことでした。
寄付者のさまざまな思いにもっと近づけるよう努力し、今後の出会いを大切にしていきたいとあらためて思いました。



長田区善意銀行に 「寄付いただきました」

(平成二十二年三月~平成二十二年七月)

石原マサコ・芝田力ナエ・永井正和・中内好美・前田智・眞木とき子・松井史子・母里賢雄・(株)青山・(株)マルハン・(株)美和インターナショナル・五位ノ池保育所・市立真陽小学校PTA・神戸市少年団野球リーグ長田地区委員会・神戸市生活指導研究会・でんきのマツナガ・長田区民まちづくり会議事務局・にしさん白楽会・兵庫県立長田高等学校PTA・宮川婦人会・窓口募金箱・匿名(順不同、敬称略)

皆様の温かい善意に感謝いたします。

就任ごあいさつ

長田区社会福祉協議会
理事長 高田 實



このたび、長田区社会福祉協議会理事長に就任いたしました高田實でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

長田区社会福祉協議会(長田区社協)は、地域の住民の皆様が住み慣れた地域で、ともに支え合いながら、安心して暮らせるよう、住民の代表、福祉関連施設・団体、行政機関などの参加を得て、昭和二十六年に発足いたしました。

近年、福祉を取り巻く社会環境は、少子・高齢化の進行に伴って大きく変化しています。今後の社会を支える子どもたちの健全な育成と安心して老後の生活を送れるような社会の実現は、我が国の喫緊の課題であります。長田区は、神戸市九区のうち、もつとも高齢化率が高く、十五歳未満の人口も全市の平均を下回っており、深刻な現状に直面しているといえます。こうした中で、地域福祉として取り組むべき課題は、子育て支援の充実、ひとり暮らしの高齢者の

見守りをはじめ、障害者の生活支援、福祉教育やボランティア活動など多岐にわたっており、少子・高齢化の進展によって、これらに対するニーズは、ますます増大しています。長田区社協としては、全力を挙げてこれらの課題の解決にあたりたいと考えています。

また、長田区社協は、平成四年に社会福祉法人としての認可を受け、地域福祉を推進する中核的な組織となりましたが、これまで長田区社協の活動の多くは、地域でいろいろな活動をしておられる皆さまと共に、取組みを進めて参りました。今後も引き続き、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと思っております。

長田区社協では、これからも、公共性と自主性を有する民間組織として、地域のいろいろな福祉課題を解決していくため、社会福祉を目的とする事業の企画・実施や福祉関係者の連絡調整などを行い、時代の変化に対応しながら、「地域福祉のより一層の充実」、「安心して暮らせる住民主体の福祉のまちづくり」に取り組みしていきたいと思っております。

微力ながら、長田区の福祉向上のために努力してまいりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

児童館でママと子どもたちのフケトン講習会が開かれるよ!



「ママたいへん! ペットボトルにお水を入れたままゴミに出すと、バックカー車で噴水みたいに水が飛び出しちゃうよ!」ゴミは、決められた袋に分けて入れようね!」昨年モデル実施した児童館での、ゴミ分別講習会を受けた帰りの、幼児とママの会話です。

子どもたちは、保護者の皆さんと一緒に、ゴミ収集作業のバックカー車を動かしたり、実験をしたり、紙芝居を見て、フケトン等の着ぐるみ人形と交流! 保護者の皆さんは講習会!

「口頃の、チョットとしたゴミ分別の疑問に答えてもらえたよ」と、昨年モデル事業に参加した方々からは、好評でした。

ぜひ皆さんも、児童館での講習会に参加してください。

詳しい日程は、各児童館だよりをご覧ください。(区社協ホームページでは、最新の児童館だよりが閲覧できます。)



バックカー車を動かしたよ

長田区環境局の協力で、ゴミ分別講習会に参加しにくい、乳幼児を持つ保護者のみなさんを対象に、今秋10月から11月にかけて、長田区にある全十児童館で、



フケトンといっしょに



親が変われば子どもも変わる

学齢期・子育て講座

受講生募集

日時: 11月25日(木)・11月30日(火)の2日間
 場所: 駒栄児童館 (長田区駒栄町3丁目1-17 駒栄保育所2階) 市営地下鉄海岸線東徒歩5分
 講師: 倉石 哲也(武庫川女子大学文学部 准教授)
 内容: 学齢期の子どもを持つ親同士がグループで、専門家の助言を受けながら「学齢期の子ども」とのよりよい関わり方を考える。
 対象: 概ね4歳以上10歳くらいまでの子どもを持つ母親、父親
 定員: 20名 (応募多数の場合は、抽選)
 参加費: 無料
 申込方法: ①受講者氏名 ②住所 ③電話番号 ④お子様の年齢・学年・性別 ⑤託児が必要な方は名前・年齢・性別をご記入の上、ハガキ・FAX・電話・右記のQRコードで下記まで
 申込締切日: 11月17日(水) *当日消印有効
 申込・お問い合わせ: 長田区社会福祉協議会 住所 〒653-0016 長田区北町3-4-3 長田区総合庁舎2階 ☎ 078-511-4277 fax 078-574-2427

QRコード



あそびにおいでよ! 児童館

その⑤ 長田児童館

長田区には十館の児童館があります。ここでは、様々な地域行事に取り組み児童館の姿を、シリーズで紹介いたします。

五館目は「長田児童館」です。

長田児童館では、この地域にある子どもとの関係機関(長田公民館・菅原、長田、長田東の各保育所・西野幼稚園・室内、水木、御蔵の各小学校、長田区子育て支援係、長田区社会福祉協議会)と共に、毎月一回懇談会を開き、地域の子育て支援のための連携を深めています。

また毎年三月には、「ひと・まち・出会いフェスティバル」を開催し、子どもたちは、ステーション発表や作品展、お茶会のお手伝いなど体験コーナーに参加して、地域の皆さんとの交流を深めています。

また、五月の「神戸まつり」では、手作り「みこし」を作って、周辺の街をねり歩いたり、冬は、「クリスマス会」を開き、地域の方々がい集いを持っています。多くの方々がふれあいの中で、子どもたちの成長を見守っていただいています。

(今回は、小野館長にお話を伺いました。)

これからも児童館の地域交流事業に注目です。



お茶会



八者懇談会



おみこし



四番町4-54

豪雨被害への支援活動報告



7月15日に兵庫県南部を中心とした観測史上最大の1時間雨量48ミリの局地的な大雨が発生しました。この集中豪雨で被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

長田ボランティアセンターでは関係機関と連携のうえ、17日、18日の二日間、被災された世帯の内、11世帯の家屋の清掃を中心に復旧支援活動への協力を行いました。ご協力をいただきました皆様に感謝いたします。

雨水の排水能力を超えたことが原因ではないかといわれており、主に水損した家財道具の廃棄や清掃、消毒が主な活動として展開されました。8月18日には関係者による「ふりかえり会」が開催され、復旧支

援活動に参加したボランティアのメンバーからは「初動期に地域の助け合いがあったことがすばらしい」「若いボランティアがたくさん参加してくれてよかった」といった声が聞かれ、今後の防災活動や災害ボランティア活動についての一步を踏み出せたような気がしています。

現在、長田中央小売市場内にて活動の様子を紹介した写真展を開催しております。ぜひご覧ください。

ご協力いただいたみなさま(順不同・敬称略)

民生委員児童委員協議会・ながた障害者地域生活支援センター・1.17KOBEに灯りをinながた実行委員会・一七市拡大版実行委員会・サンタ団・神戸市立長田中学校・長田神社前地域活性化協議会・神戸市立おもいけ園・共働作業所くららべーかりー・拓人こうべ・サンクス神戸長田二葉町店・環境局長田事業所・長田区役所・神戸市建設局西部土木事務所・ひょうごボランティアプラザ・兵庫県社会福祉協議会・神戸市社会福祉協議会・大阪ボランティア協会・たかとりコミュニティセンター・FMわいわい・長田区災害ボランティア基金・神戸常盤ボランティアセンター



ボランティアグループのリーダー 施設や学校のボランティア受入担当者にオススメ!

市民の社会参加を促すチカラ

ボランティアコーディネーション力 3級・2級検定

ボランティアコーディネーション力3級検定(主催:特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会)を平成23年2月20日に長田ボランティアセンター、神戸常盤ボランティアセンターの共催で開催いたします。

昨年からはまったこの検定試験は、地域のボランティアリーダーや公共施設や福祉施設でのボランティア担当者、学校の先生にお勧めの検定で「直前研修」と「検定試験」がセットでおこなわれ全国各地で開催されています。

すでに、長田ボランティアセンターでは他都市で開催された検定を受験し、全スタッフが3級に合格しております。合格者からは「基本的なことを再学習できた」「ボランティアをとりまく市民社会の理解が深まり自信が持てた」などの声が上がっており、この検定を地域の皆さんにぜひ広げていきたいと考えています。

応募方法や会場などの詳細は決まり次第、ボランティアセンターのHP(<http://www.nagatavc.org/>)やチラシ等でお知らせいたします。

検定について詳しくは日本ボランティアコーディネーター

協会のホームページ(<http://www.jvca2001.org/>)をご覧ください。

試験問題例 ※択一式筆記試験(4択)

1. ボランティア活動の基本概念を説明するものとしてふさわしくないものを1つ選びなさい。

A 私益ではなく公益を目指す
 B 安い時給で活動を行う
 C 金銭的な対価を求めない
 D 自発的に行う
 (1)A (2)B (3)C (4)D 答え(2)

2. ボランティアコーディネーションの機能の組み合わせとして適切なものを1つ選びなさい。

A 総合力や新たな解決力を生み出す
 B 組織内の人や部署の役割を固定化する
 C 対等な関係をつくりだす
 D 多様な意見が出てこないように調整する
 (1)AB (2)BC (3)CD (4)AC 答え(4)

